

研修に参加して

猛暑の中の8月9日(木)に横浜市民防災センターへ研修に行ってきました。東日本大震災から時間が経つごとに薄れがちな防災意識をあらためて思い起こすため、また、それぞれの学校・家庭・地域で活かせるように、体験研修会としました。

横浜駅から徒歩で10分程の沢渡中央公園内にあり、災害のしくみを体験して学べる施設で、災害を「知る」「体験する」「備える」の3つのゾーンに分かれていて、その他に、過去の災害の記録フィルムを観て、展示を見学しました。

体験ゾーンでは「地震」「煙」「暗闇」を体験しました。煙体験では、煙が充満した部屋から出るまでは安全だとわかっていても焦ってしまい、暗闇体験では、何も見えない真っ暗な部屋を、声を出し合い壁づたいに歩いて何とか脱出しましたが、現実では恐怖感で身動きできず、さらに危険だと思知らされました。

いつ起きてもおかしくない大規模地震や災害に備えて、この体験を活かしていくことを確認しました。

(五十嵐)

学園都市むつあい協力者会議って?

〈目的はな〜に?〉

子どもたちの健やかな成長を支援するため学校・家庭・地域が、むつあい独自のネットワークを組み、「ゆとり」と「ふれあい」を育む地域作りを目指しています。

〈どんなことをしているの?〉

- 小学生・中学生・高校生の交流事業
- 六陵祭文化部門(六会中学校)において、生徒が主体的に参加できる企画の提案
- 関連団体からの依頼に対する支援

メンバー紹介(^)/

六会中学校長	田中一次(副会長)	六会中学校PTA会長	北橋節男(会長)
六会小学校長	海保大司(委員)	六会小学校PTA会長	齊藤邦子(委員)
亀井野小学校長	井上徹(委員)	亀井野小学校PTA会長	太田佳代子(書記)
天神小学校長	夏目和幸(監事)	六会中学校おやじの会	北橋節男(会長)
日本大学藤沢高・中学校長	小松実(委員)	天神小学校学級世話人会代表	小宮純子(書記)
県立藤沢工科高校長	木南郁男(委員)	六会小学校おやじの会会長	岡藤弘(委員)
県立藤沢養護学校長	佐藤憲司(委員)	亀井野小学校親亀会会長	石澤修一(委員)
日本大学生物資源科学部庶務課長	梶一夫(委員)	藤沢養護学校PTA書記	橋本美津子(委員)
多摩大学グローバルスタディーズ学部学生課長	瀧川浩人(委員)	自治会連合会副会長	堀千鶴(会計)
善行森の幼稚園長	古郡愛子(委員)	社会福祉協議会副会長	小池裕子(委員)
六会幼稚園長	平川春江(委員)	民生委員児童委員協議会副会長	堀口陽子(委員)
六会保育園長	赤塚里江(委員)	青少年育成協力会会長	青木純子(委員)
亀井野保育園長	加藤隆次(委員)	青少年指導員	五十嵐直美(副会長)
		青少年指導員	湯川恵子(委員)
		民生委員主任児童委員	長坂珠美(監事)
		民生委員主任児童委員	玉腰巳佳(委員)
		湘南ベルマーレスポーツクラブ事務局長	藪田稔(委員)



<http://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/manabi/page101299.shtml>

※ホームページアドレスが長いので、「藤沢市ホームページ」を開いて、右上に「三者連携ふじさわ」と入力し、検索すると開きます

三者連携ふじさわ

学園都市 むつあい 第12号

発行: 学園都市むつあい協力者会議

編集: 広報担当(六会市民センター)

学園都市と呼ばれて

学園都市むつあい協力者会議

会長 北橋 節男



藤沢市に15団体ある三者連携事業で、六会地区は「学園都市」が頭についています。理想であり目標でありましたが、どんどん近付いていると思います。3小学校・1中学校・3高校・1養護学校・1大学から始まりましたが、できる活動に絞って毎月の会議を充実させてきました。年々学校間の理解が進むと交流につながり、地域団体が支える形で保護者も積極的に学校へ入ってきます。

現在は高校のみ1減ですが、2保育園・2幼稚園・1中学・1大学・湘南ベルマーレが加わっています。人材が豊富で情報交換も活発です。

PTA・世話人会・親父の会も活動の中心的で、大人の地域デビューとなっています。9月の六会中「六陵祭」での各団体参加、被災地より生徒・ボランティアを招待しての発表。10・11月の小中高3校同士によるクラブ活動交流。学校安全ネットワーク・亀井野小学校の放課後こども支援の運営など。地域の皆さんのご支援に感謝いたします。

これからも、六会地域を豊かで明るい「学園都市」を目指して、協力して参りましょう。

六会中学校 六陵祭

六会中学校長 田中 一次

学園都市むつあい協力者会議に加盟している高校・大学などの地域サークルによる催しは生徒・保護者には大変な人気でした。今年度は昨年からの交流のある大震災を経験された気仙沼の若者たちと中越地震等、2度の大震災を経験された新潟県柏崎市立北条中学校の校長先生や生徒・地域の方々のお出でいただきPTAを含め約17の団体に協力してもらうことにより、文化祭において地域の人々とのふれあいが図られました。

藤沢工科高校によるものづくり体験では高校生が先生役として工作活動を行い、中庭での日大藤沢高校のダンス&吹奏楽部では、高校野球の応援が再現され、年齢に近い高校生の姿は中学生にも進路を考える



よいきっかけになったようです。大学では多摩大のグローバルスタディーズ学部による国際色豊かな催しが毎年好評で、外国のお菓子やお茶を飲みながら楽しみ、日大生物資源学科は地域に生息する動植物を実際に展示しながらポスターなどでの解説がありました。また、今年も藤沢養護学校のねぶたの作品もあり、養護学校・高校・大学が互いの情報を発信し、地域や人との連携を強くすることで、六会中の文化祭が中学校だけのものではなく、地域の中で重要な結びつきの場となっていると感じられました。